

すみれ 八月

まだまだ暑さが続きますが、子どもたちは夏だからこそ楽しめる水遊びを「早く水遊びしたい!」と意欲を持ち、元気いっぱい楽しんでいきます。シャワーのミストで全身を濡らし、「気持ちいいね」と友達と顔を見合わせたり、色水で混色して出来た色を「見て見て!」と知らせたり、大好きな友達と誘い合って遊び、同じ経験をして楽しい思い出を共有していますよ。

友達と「一緒に遊ぼう」と誘い合う姿が増えた一方で、「○○ちゃんと遊ぶから、□□ちゃんとは遊べない」「僕が●●ちゃんと約束したのに!」とそれぞれの思いがぶつかることも。思いを伝え合う様子を見守りながら、どんな伝え方がいいか、楽しく遊ぶにはどうしたらいいかを一緒に考え、言葉で思いを伝える方法、相手を思いやる気持ちをしらせていけたらと思っています。



水遊びやお部屋の遊びに招待してもらうことで、年上児との関わりがたくさん増えています。さくら組、ゆり組の遊びは子どもたちにとって「こんなことしてみたい!」と、とても良い刺激になっているように感じます。水遊びの中では、洗濯遊びや氷作り、泡作りなど遊んでいる年上児の姿を見て「やってみたい」と意欲を持ち、同じようにやってみることで出来ることが増えたり、難しい時には、お兄さん、お姉さんが「こうしたらいいよ」と優しく教えてくれ、子どもたちのやってみる力が育っていますよ。また、さくら組、ゆり組の遊びに招待してもらい遊びに行くと、玩具でいろんなものが表現されており、「すごいね」と憧れの眼差しも向けています。年上児との遊びは、子どもたちの社会性の発達にも繋がります。保育者から知らせる以上の学びが生まれることもあるので、今後も関われる場を設けて、子どもたちの成長を見守っていききたいと思っています。

花火大会を見に行ったことを話してくれた子がいたことから、絵本「はなびがあがりますよ」を集いで読みました。花火大会の話題がさらに増え、ロンディーで花火を作る子も見られるようになりました。自分が経験したことを玩具で再現する楽しさを感じているように思います。

そこから、いろんな表現方法を知ってほしいと思い、クレヨンで花火を描いた上に黒の絵の具を塗り、はじき絵に挑戦!「楽しそう!」と興味を持ち、「すご!」と自分が描いた絵が、夜空に浮かび上がっているかのような絵に大喜びの子どもたち。いろんな種類の花火が部屋の中で上がっていることで、それらをうっとり見つめ、お部屋でも花火の観賞を楽しんでいますよ。



カブトムシ、クワガタの観察を楽しんでいます

最初は飼育ケースに入っているのを見つめ、土の中にもぐってしまうと「先生～!出して～!」と保育者をお願いしていた子どもたち。観察をすることで「ツノこんなやね」と見て気付いたことを教えてくれていました。見る時間が増えて慣れてくると、少し触れてみるところから、今では自分の手で持ち上げられる子も増えてきましたよ。カブトムシ、クワガタとの関わりの中で、扱い方が雑になってしまう姿も…「こうしたらびっくりしちゃうよね」「こんなんしたら痛いよね」とみんなで考えながら小さな命を大切にする気持ちの育ちを見守っていききたいと思います。また、観察したい、でも友達がいて見る場所がない、というところからトラブルになることも。「次代わってくれるか聞いてみよう」など押し合うのではなく言葉でのやりとりの方法を知らせています。



先月のあかねだよりでもお知らせした、体操服の用意がまだの方はお願いします。使う時にお知らせしますので、それまではお家で保管してくださいね!